

稿本近代文学

第 45 集

明治二〇年代の女子向け歌論と与謝野鉄幹「亡国の音」……堀下 翔 …… 1

芥川龍之介「手帳六」考続貂……………章 瑋 …… 13
附図版・翻刻・略注・筆記用具一覧表 — 「奇遇」との関係を起点にして—

2022 年 3 月

本誌は各位のご協力のおかげで、厳正な査読体制を維持しております。その結果、本集は二本の論文を掲載することができ、実に六年ぶりに一〇〇ページを超えることとなりました。

もしかしたら、さぞかし大変な編集作業だったろうと、編集子を中心に心配して下さった方がいるかもしれません。しかし、へ長くて大変な方の論文の稿者は、何を隠そう編集子その人なのでした。

本誌の編集を担当してから、はや四年が経ちました。この四年間で鍛えられた編集技術の集大成として、本誌の書式に沿いながら、ほぼ理想に近い形で刊行することができました。拙稿を自ら編集しながら、あらためて本誌の歴史と、平岡敏夫先生以来の伝統を感じた次第です。今後ともご協力を賜りたく、心よりお願い申し上げます。

『稿本近代文学』編集部一同

〈第四五集執筆者紹介〉

堀下 翔 筑波大学大学院博士課程人文社会科学研究所

文芸・言語専攻日本文学領域四年次

章 瑋 筑波大学大学院博士課程人文社会科学研究所

文芸・言語専攻日本文学領域五年次

今回、査読にご協力いただいた方々は以下のとおりです(名前順)。

川島(永橋) 禎子(二〇〇九年度修了)、馬場美佳(二〇〇三年度修了)、渡邊史郎(二〇〇二年度修了)

〈投稿要領〉

- 一、『稿本近代文学』は広く日本近現代文学に関する学術論文を掲載します。
- 一、項目は、「論文」「寄稿・書評等」を基本とします。
- 一、分量については、いずれの項目についてもとくに規定を設けません。但し「論文」は一万二千〜一万六千字（四百字詰原稿用紙換算三〇〜四〇枚）程度を目安とします。
- 一、締め切りは、毎年度十二月末です。
- 一、投稿を希望する項目名を指定の上、データファイルを編集部までメール・郵送等にて送ってください。また、論文末に執筆者のご所属・肩書等を記載してください（つくばリポジトリの「その他の寄与者」欄にも掲載されます）。
- 一、「論文」については、一名以上による査読を行い、掲載の可否を決定します。査読については査読者名を公開する記名式です。査読は特段の事情がない限り近代部会OB・OGが行います。
- 一、掲載にあたり、執筆者による校正は二回までとします。
- 一、『稿本近代文学』は、筑波大学附属図書館管轄の「つくばリポジトリ」によって公開します。公開時期は当該年度の三月末です。リポジトリ上での検索キーワード、英文タイトル、要旨・抄録の公開も希望される場合は、お知らせください。
- 一、他詳細については、編集部まで直接お問い合わせください。

連絡先

「筑波大学日本文学会近代部会『稿本近代文学』編集部」

郵送 〒305-8571

つくば市天王台 筑波大学大学院 人文社会科学研究所

文芸・言語専攻内

メールアドレス kounon.tsukuba@gmail.com

公開サイト「つくばリポジトリ」内

「学内定期刊行物」(https://tsukuba.repo.nii.ac.jp/?page_id=78) ↓

「稿本近代文学」

稿本近代文学第四五集

二〇二二年三月三十一日発行

筑波大学日本文学会近代部会

〒305-8571 茨城県つくば市天王台

筑波大学大学院人文社会科学研究所

文芸・言語専攻内 馬場研究室